

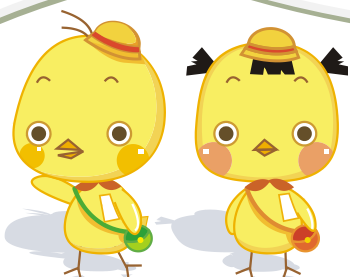
# 日野町保小連携推進計画

～子どもたちの育ちと学びを、なめらかにつなごう！～

## スタートカリキュラム

黒坂小学校

根雨小学校



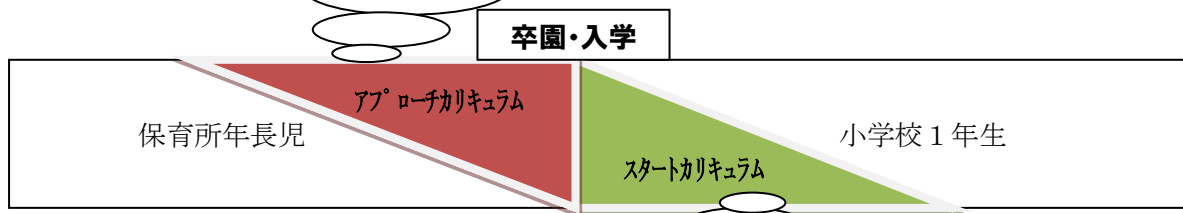
ひのっこ保育所

## アプローチカリキュラム

平成24年度～27年度  
日野町教育委員会  
(平成24年度修正版)

## ※「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」とは・・・

卒園を前にした年長児のおおむね1～3月の期間において、子どもたちの育ちを確認しながら、小学校での生活や学習を意識した保育を展開するためのプログラムのこと。「保育所保育指針」の中にも、小学校教育との連携が明記されている。



新入児童の入学直後約1ヶ月間において、児童が幼児期に体験してきた遊びの要素とこれからの小学校生活の中心をなす教科学習の要素の両方を組み合わせた、合科的・関連的な学習プログラムのこと。「小学校学習指導要領解説 生活編」の中にも明記されている。

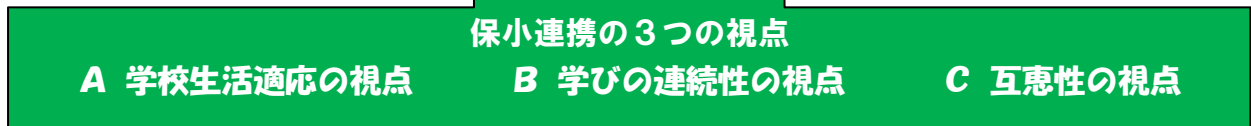
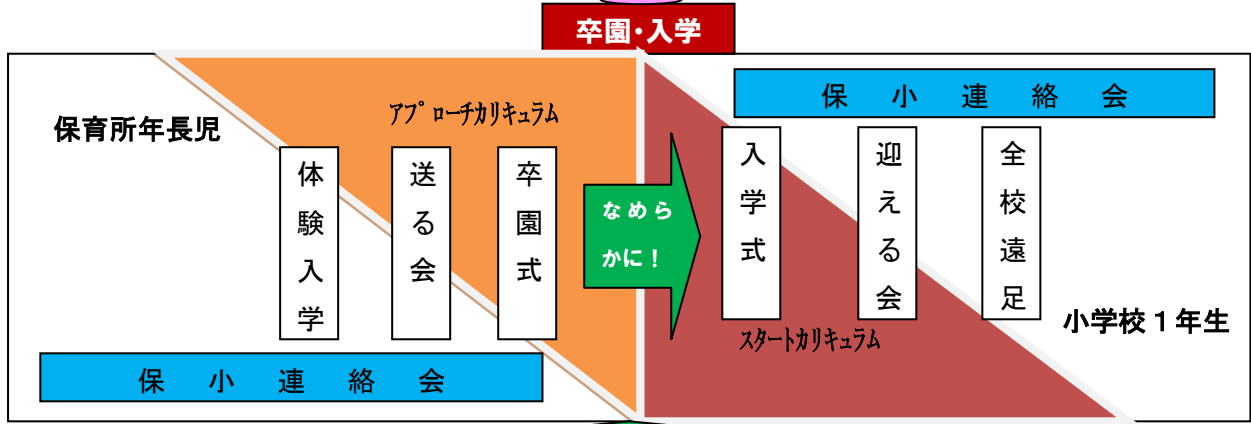
## も く じ

1	保小連携のイメージ図	・・・	2	ページ
2	基本的な考え方	・・・	3	ページ
3	学びの基礎を育むプログラム	・・・	4～7	ページ
4	アプローチカリキュラム	・・・	8～10	ページ
5	スタートカリキュラム	・・・	11～13	ページ
6	関連行事の計画と内容	・・・	14	ページ
7	つなぎたい学びのルール	・・・	15	ページ
8	参考資料	・・・	16	ページ

# 1 保小連携のイメージ図

教育目標

「心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成」



スローガン

子どもたちの育ちと学びを なめらかに つなごう！

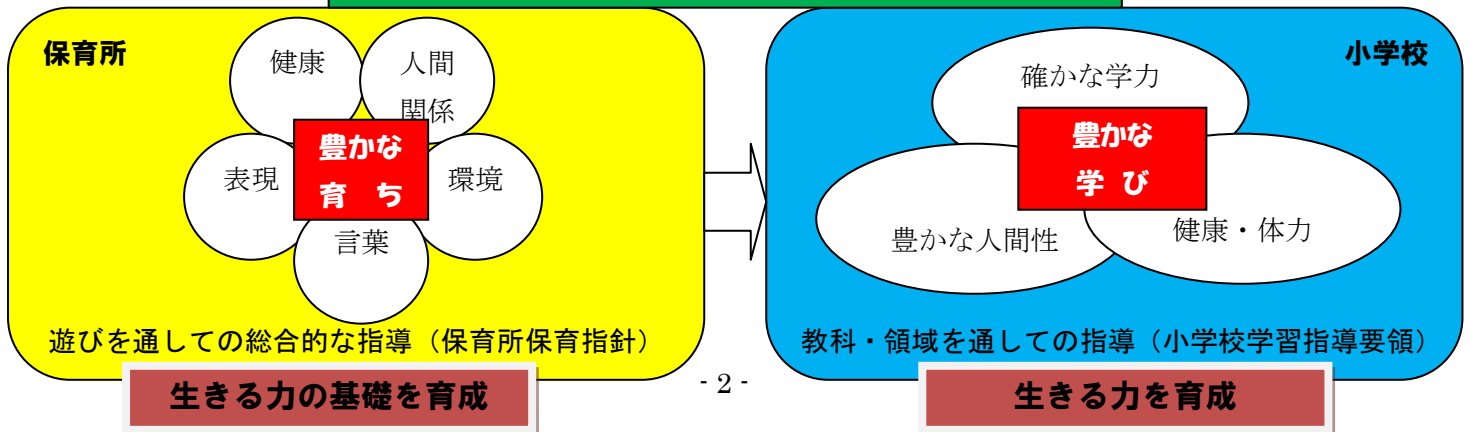
接続期をなめらかにつなぐ

日野町学びの基礎を育むプログラム

育てたい4つの力

- 1 基本的な生活習慣
- 2 コミュニケーション力
- 3 自尊感情
- 4 セルフコントロール力

保小が連携した系統的な指導



## 2 基本的な考え方

### (1) 幼保小連携の動き

平成21年4月より新しい幼稚園教育要領及び保育所保育指針が実施されています。そこには、発達や学びの連続性を踏まえ、小学校教育との円滑な接続のために連携を図るようにする内容が示されています。

一方、平成23年4月から施行されている小学校学習指導要領においては、小学校低学年では、幼児教育の成果を踏まえ、体験を重視しつつ、小学校への適応、教科などの学習への円滑な移行などが重要であることが示され、幼稚園に加え保育所との連携が新たに明記されました。

### (2) 日野町での取組

日野町では、全国に先駆けて平成17年に、当時の黒坂小学校と黒坂保育所が連携して「学びの基礎を育むプログラム」を策定し、保小連携の礎を作っています。

また、平成23年4月には、幼児期の育ちを小学校へなめらかにつなげていけるように、保育所の所管をそれまでの健康福祉課から教育委員会へ移管しました。そして、「日野町子ども15年プラン」を策定し、0歳から15歳まで一人ひとりの子どもの育ちを大切にしながら、一貫した教育に取り組んでいます。

### (3) 日野町「育ちと学びをなめらかにつなぐ」保小連携推進計画

日野町教育委員会では、幼児教育と学校教育との連携は極めて重要であるという認識のもと、これまでの取り組みを整理するとともに、更に「日野町子ども15年プラン」の趣旨を踏まえ、保小連携を具体的に進めるため「日野町『育ちと学びをなめらかにつなぐ』保小連携推進計画」を策定します。

そして、関係者が共通認識を持ちながらこの計画を推進していくために、次のようにスローガンを掲げたいと考えています。

《スローガン》

**子どもたちの育ちと学びを なめらかに つなごう！**

なお、この計画は、「日野町子ども15年プラン」との整合性を図り、平成24年度から27年度までの4年間の推進計画として考えています。

また、この計画は、幼児や児童の実情に即しながら、担当者を中心に毎年確認と見直しを行いながら、より実態に合った内容に更新していきます。確認と見直しは、教育委員会の指導主事が中心となり行います。

### 3 日野町学びの基礎を育むプログラム

保育所と小学校が連携し保護者を支援しながらプログラムを実践することを通して、学びの基礎となる基本的な生活習慣の定着、コミュニケーション力、自尊感情、セルフコントロール力を育てる。

#### 《 育てたい4つの力 》

<b>基本的な生活習慣</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・心身ともに健康な生活を送るためのもとなる生活習慣</li><li>・特に食事、睡眠、整理整頓、あいさつ・返事を視点とする</li></ul>
<b>コミュニケーション力</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・他者の話を聞き、気持ちを理解し、情報を収集したり発信したりする力</li><li>・特に聞く、話す、関わるの3つを視点とする</li></ul>
<b>自尊感情</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分を否定するのではなく肯定的に認め、自分らしさに自信を持ち、自分を価値あるものとして思えるようになること</li><li>・特に意欲・前向き・自己実現、自己肯定感を視点とする</li></ul>
<b>セルフコントロール力</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の感情や欲望をおさえる力</li><li>・特に自己抑制、根気強さを視点とする</li></ul>



## 日野町学びの基礎を育むプログラム（保小連携プログラム）

連携の観点		保育所			小学校				
		3歳児	4歳児	5歳児	低学年	中学年	高学年		
1 基本的な生活習慣	食事	視点	・嫌いなものでも食べる。 ・箸を正しく持って食べる。	・正しい姿勢で食べる。 ・こぼした物は自分で拾って片付ける。	・一定量を一定時間内に食べ終わる。 ・正しい姿勢で座り、食べる。	食事の大切さが分かり、マナーに気をつけて食べる。			
		学校・保育所でのアプローチ	・ひとり一人の心身の状態を把握し、量を加減しながら、食事が楽しい雰囲気できるように、配慮や工夫をする。 ・家庭での食事状況を把握し、連携をとりながら進めていく。 ・楽しく食事をしながらマナーを知らせていく。 ・朝食の大切さを子どもたちに知らせるとともに 家庭にも働きかける。			・朝食の実態を把握し、家庭、本人への働きかけをする。 ・給食のマナーを知らせ、楽しく食事ができる工夫をする。			
	睡眠	視点	・保育者に寄り添ってもらいながら午睡や休息を十分にとる。	・保育者の言葉かけにより午睡や休息をとる。	・午睡や休息を自分から進んでする。	・「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さに気づき、決まった時刻に寝たり起きたりする。	・一人で決まった時刻に寝たり起きたりする。	・必要な睡眠時間を確保するために工夫して生活する。	
		学校・保育所でのアプローチ	・睡眠時間の大切さを知らせ、成長に必要な十分な時間が保障されるように家庭に働きかける。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを、保育を通して知らせ、意識を持たせていく。			・生活の実態を把握し、学校での様子を知らせていく。 ・長期休業前の便りを通し、生活リズムの大切さについて、知らせていく。			
	整理・整頓	視点	・自分の物と人の物を区別し、整理する場所が分かる。	・使った物を友だちと一緒に片付ける。	・使った物をみんなで片付け整理する。	・物を大切に使い、もとの場所にきちんと整理・整頓して返す。			
		学校・保育所でのアプローチ	・家庭においての、自分の持ち物の整理・整頓の様子を聞き、生活しやすい場を工夫していく。 ・身の回りのことが、自分でスムーズに出来るための環境を、子どもたちと一緒に工夫する。 ・保育者自身が常に園内外の整理・整頓や美化に努め、心地よい環境を知らせる。			・整然とした教室で気持ちよさを味わわせる。 ・物の置き場を決め、整頓できるようにする。 ・係活動で点検させていく。			
あいさつ・返事	視点	・日常のあいさつをする。 ・呼ばれたら返事をする。	・促されなくても、返事やあいさつができる。	・日常生活に必要なあいさつや返事が気持ちよく自分からできる。	・元気に気持ちよく返事をし、自分から進んであいさつをする。	・どの場でもはっきりと返事をしたり、あいさつをしたりする。	・時と場、相手を考えて、適切なあいさつや返事をする。		
	学校・保育所でのアプローチ	・保育者が進んであいさつし、あいさつされる心地よさを味わわせていく。 ・自分からあいさつできたときは認め、あいさつされて、心地良かったことを知らせる。			・よくできたときに誉める。 ・出会った人にもあいさつできるように励ます。 ・「おはよう」「おやすみ」「ごちそうさまでした」「いただきます」を徹底させる。				

連携の観点		保育所			小学校				
		3歳児	4歳児	5歳児	低学年	中学年	高学年		
2 コミュニケーション力	聞く	視点	・相手を見て聞く。	・相手の話を進んで聞く。	・相手の話を注意して聞く。	・相手の目を見て、最後まで口をはさまず聞く。	・話の中心に気をつけて、大切なことを落とさずに聞く。	・話し手の意図を考えながら聞く。	
		学校・保育所でのアプローチ	・聞いてもらえることの心地良さを味わわせ、聞くことの大切さを知らせる。 ・家庭でも会話を多く持ってもらうように働きかける。			・伸びをほめる。 ・静かに聞く場を設定する。 ・簡潔に説明する。 ・学習習慣づくりを全学年で取り組む。			
	話す	視点	・自分の思ったことや、感じたことを言葉に表し、保育者や友だちとの言葉のやりとりを楽しむ。	・自分が経験したことを話して、言葉で伝える楽しさを味わう。 ・自分のしたいこと、して欲しいことをはっきり言う。	・話しかけや問いかけの言葉に適切に対応する。 ・自分の思いを友だちや保育者に言葉で伝える。	・自分の思いを言葉できちんと伝える。	・集団の中で自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け止めたりする。	・反対意見や少数意見でも理由を付けて主張する。	
		学校・保育所でのアプローチ	・自分の思いが相手に伝わった時の充実感や話すことの楽しさを知らせる。 ・保育者が最後まで聞き取り、話せたことへの自信を持たせる。			・自信をもたせる。（できるかもしれないという可能性を感じさせる。） ・じっくり子どもの話を聞く。 ・話すための準備をしっかりして、成功体験をさせておく。 ・相手の気持ちを代弁・通訳する。			
関わり	視点	・「ありがとう」「ごめんない」を素直に言う。 ・友だちと遊ぶおもしろさや楽しさがわかる。	・友だちがいることの喜びや楽しさがわかり、関わりを広げる。	・友だちへの思いやりを深め、一緒に喜んだり悲しんだりする。	・「ありがとう」「ごめんない」を素直に自分から言う。 ・友だちに声をかけて遊ぶ。 ・周りの人に対して素直な受け答えをする。	・自分の利害に関係なく、思いやりのある行動をする。	・相手の気持ちや立場を考えながら、自分の考えを言動に表す。		
	学校・保育所でのアプローチ	・保育者が仲立ちしながら、友だちとの関わりが持てるようにする。 ・集団遊びを通して一緒に遊ぶことのおもしろさ、楽しさが分かるようにする。			・共感し合う体験を通して、友だちと関わることの楽しさや大切さが味わえるようにする。 ・相手がどんな気持ちなのか話して伝える。 ・友だちと遊んだり学んだりできるように声をかけたり、グループ編成を工夫したりする。 ・子ども自身が自分の気持ちを整理できるように話を聞く。 ・共同体験や集団活動を通して、思いを共有できるようにする。 ・非攻撃的の自己主張のスキルが身に付くような学習を実施する。 ・エンカウンターの手法を用いながら、子どもの人間関係を育てる。				

連携の観点		保育所			小学校			
		3歳児	4歳児	5歳児	低学年	中学年	高学年	
3 自尊感情	意欲・前向き・自己実現	視点	・自分でしたいことを見つけて楽しむ。 ・保育者の援助を受けながら意欲的に生活する。	・いろいろなことを自分からする。	・自分の目標を持ち、意欲的に生活する。	・初めてのことも、失敗をおそれずやってみる。 ・自分の目当てをもって努力する。	・いろいろなことにチャレンジする。 ・自分の目標を定め、それに向かって努力を続ける。	・自分自身やまわりの状況を肯定的に捉え、意欲をもって生活する。
		学校・保育所でのアプローチ	・したいことを自分から見つけられるように、生活や遊びの環境を工夫する。 ・失敗を恐れず、やろうとする気持ちを大切にするような言葉かけをする。			・めあてを持って活動し、振り返りの場を持つ。 ・学習活動や行事の中で進んで取り組んでいる姿勢を言葉で伝え、達成感を味わわせる。		
	自己肯定感	視点	・保育者に自分の気持ちを受容してもらうことにより、安心して過ごす。	・保育者に気持ちを受容してもらうことにより、安心して自信を持って過ごす。	・ありのままの自分を好きと感じ、のびのびと過ごす。	・自分の特徴に自信をもち、自分らしさを大切にする。		
		学校・保育所でのアプローチ	・ありのままを認める言葉かけをする。 ・子ども同士の良さを認め合う場をつくる。(保育活動の中で、がんばった点を共感し合う) ・役割をつくる(当番活動・お手伝い)			・ありのままを認める言葉かけをする。 ・子ども同士の良さを認め合う場をつくる。(いいこと見つけ、がんばった人の紹介、終わりの会) ・役割をつくる。(当番、委員会活動、集会活動)		

連携の観点		保育所			小学校			
		3歳児	4歳児	5歳児	低学年	中学年	高学年	
4 セルフコントロール力	自己抑制	視点	・遊びを通して、ルールや約束を守る。	・友だちとの関わりを通して我慢したり、待ったりする気持ちをもつ。 ・友だちと生活する中で、ルールの大切さに気づき守る。	・要求のぶつかり合いを通して、自己主張したり相手の主張も受け入れる。 ・約束やルールを守って集団行動がとれる。	・決まりを守り、集団や他者の迷惑になることは、がまんする。	・友だちなど周りの人のことも考えて行動する。	・自分の立場やまわりの状況を考えて判断し、適切な行動をとる。
		学校・保育所でのアプローチ	・生活や遊びの中でルールを伝えていく。 ・時には、自分の主張を抑制することによって、楽しく遊べることに気付かせる。			・学校、学級でのルールをはっきりさせ、守れたことは誉める。		
	根気強さ	視点	・自分のことは自分でする。		・自分の仕事や役割を最後までやり通す。	・自分のすべきことは最後までです。	・自分のすべきことは苦手なことも最後までやり遂げる。	・自分のたてた目標の実現に向けて、困難にめげずに見通しをもってやり遂げる。
		学校・保育所でのアプローチ	・身の回りのことが自分でできたか一つひとつ見届けていき、やりとげられたら誉めて認める。 ・できないところは励ましていく。			・簡単な仕事や役割を決めることから始め、力を合わせて徐々に目標を上げ、点検しながら励ましや賞賛を与える。 ・その子にあった課題を与え、できたら誉める。		



めざせ！やさしく、かしこくたくましく生きぬく

●自分を大切にできる子に

- ・子どもをしっかりほめましょう。
- ・子どもの言い分に耳をかたむけましょう。
- ・他人や家族の悪口を言わないようにしましょう。
- ・「ありがとう」の気持ちをもちましょう。
- ・「あなたは宝物」と子どもに伝えましょう。

ひ  
の  
っ  
子

●人とつながれる子に

- ・家族そろっての食事の機会を増やしましょう。
- ・子どもの目を見て、最後まで話を聞きましょう。
- ・子どもに声をかけていきましょう。
- ・子どもとたくさんのスキンシップをしましょう。

●ねばり強くがんばる子に

- ・子どもと一緒に何かをやってみましょう。
- ・親の思いを子どもに語りましょう。
- ・子どもに家事の役割を与えてあげましょう。
- ・我慢する体験もさせましょう。



あいさつ、食事、睡眠、整理整頓

- ・朝食の大切さを知り、バランスの良い食事に心がけましょう。
- ・食事の時は、テレビのスイッチを切りましょう。
- ・子どもに必要な睡眠時間を考え生活リズムをつくりましょう。
- ・子どもと一緒に片付けをし、気持ちよく生活をしましょう。
- ・保育所や学校に必要な物の置き場所を決めましょう。
- ・「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ごちそうさまでした」と言える子どもにしましょう。

○子どもの手本となるような行動をめざしましょう。





## 4 アプローチカリキュラム(ひのっこ保育所)

1月

育てたい力	ねらい	主な内容	環境・構成	関連する行事	連携に向けた保育者の援助(3つの視点との関連)	
1 4 1 4 1 1	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々な活動や体験を通して、危険なことから身を守り、安全な行動がとれる。</li> <li>自分でよいこと悪いことを判断し、危険のないよう行動する。</li> <li>寒さに負けず積極的に体を動かし、体力・運動能力を高める。</li> <li>自分の体に関心を持ち、健康な生活に必要な習慣や態度を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全カルタを楽しむ。</li> <li>交流会にバスで行き来する。</li> <li>火災の時の避難の仕方を練習する。</li> <li>戸外遊びや転がしドッジ、マラソンを楽しむ。</li> <li>手洗いうがいの練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全カルタをカルタ置き場に設置。</li> <li>遊戯室や園庭にラインを準備。</li> <li>早寝早起き朝ご飯履物揃えの大切さについての話の提示。</li> <li>冬の感染症への通知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災避難訓練</li> <li>かじか荘との交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じてクラス全体で考え、安全意識を高め自分の身を守るとともに、まわりの安全をも考えて行動できるようにしていく。A</li> <li>体を動かす遊びを工夫し楽しさを味わえるよう十分な時間設定をする。B</li> <li>生活習慣を整え、生活リズムの大切さを分かりやすく伝えていきながら、進んで行う姿は褒めてクラス全体に伝えていく。A</li> <li>ねらいによるうがいの方法の違いを理解できるように、その都度知らせていく。A</li> </ul>
2 3 4 1 4 2 3	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の中で自分の思いを主張したり、認め合ったりしながら遊びや活動を発展させる。</li> <li>正月遊びを十分に楽しむ中で、用具を大切にしたり決まりの大切さに気付き守ろうとしたりする。</li> <li>地域の様々な人と関わり親しみを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びや活動の中で感想を発表したり相談したり話し合ったりする。</li> <li>正月遊びを楽しむ。</li> <li>中学生やかじか荘の高齢者との交流を楽しんだり、餅つき大会で地域の人から餅つきのやり方を教わったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想を発表したり、相談したり話し合ったりする場を設定する。</li> <li>カルタ、すごろく等の正月の遊び道具を用意。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カルタ取り会</li> <li>日野中 3 年生 保育実習 かじか荘との交流会 餅つき大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が思いを出し合い、良さを認め合って遊びや活動が進められるよう、必要に応じて助言したりヒントを出したりする。A B</li> <li>率先して遊ぶとともに、冬休みに正月遊びを体験した子供の姿も引き出し、他の子どもへの刺激にしていく。B</li> <li>子どもの気持ちに共感しつつ、喜びや悲しみをを感じる場面やその表現に注意を払い、思いやりの気持ちを育てていく。A</li> </ul>
1 3	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の生活の中で文字・数量・図形などへの関心を深め、それらを使った遊びや生活を楽しむ。</li> <li>冬の自然や季節の行事への関心を深め、冬らしさを感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時計を見ながら時間を意識して生活する。</li> <li>以上児によるカルタ取り会や餅つき会、七草粥などの行事を楽しむ。</li> <li>冬らしい事象を見つけることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時計の模型や数とひらがなの積木等をいつでも見られるところに設置。</li> <li>様々な機会に、季節や行事に対する話題の提示。</li> <li>散歩や戸外遊びの時間の確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カルタ取り会</li> <li>餅つき会</li> <li>七草粥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の理解に応じ、必要な読み方や意味を分かりやすく伝えていく。B</li> <li>話の中に伝統行事の話題を取り入れ、関心を持たせるようにする。B</li> <li>戸外遊びなどで自然の変化に気付かせていく。B</li> <li>見つけた時の喜び、触った感触、集める楽しさ、調べる発見など、その日その場のタイミングを逃さず取り入れていく。B</li> </ul>
2 3 2 3 2 3	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉や文字で伝える楽しさを味わう。</li> <li>考えや思いを言葉でやり取りする。</li> <li>絵本を見たり聞いたりして想像する楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>したことや感じたことを話して伝え合ったり、文字に書いて伝えたりすることを楽しむ。</li> <li>お話会や司書・保育者による読み聞かせを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがな積木や表、カード等を用意し、いつでも見られるように設置。</li> <li>活動の後や終わりの会等で思いを伝え合う場を設定。</li> <li>読み聞かせを受けた本を室内や園内に掲示し、何度も手に取れるコーナーを設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お話会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋道や考えを整理して、相手に分かるように話すにはどうすればよいかを一緒に考え、必要に応じ適切な言葉を補っていく。A B</li> <li>話の内容を吟味して、興味を持って物語の世界が楽しめるようにしていく。B</li> </ul>
3 3	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌を歌ったり好きな曲を聴いたりして音楽の楽しさを味わう。</li> <li>色々な素材を用い、試したり工夫して作ったりすることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌やダンスの会で音楽の楽しさや体を使った表現を楽しむ。</li> <li>お正月休みにしたことの絵をかくて楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色紙や画用紙の切れ端、様々なペンなどを手に取れるように準備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌の会(月)</li> <li>ダンスの会(金)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に歌ったり踊ったりするとともに、聞いた曲や聞かせたい曲を食事中にかけるなどし、音楽に親しむ機会を多く設ける。B</li> <li>道具の使い方、片付け方など、必要に応じて知らせていく。A B</li> </ul>

★保小連携 3つの視点 (A 学校生活適応の視点 B 学びの連続性の視点 C 互恵性の視点)

★日野町子どもたちに育てたい4つの力 (1 基本的な生活習慣 2 コミュニケーション力 3 自尊感情 4 セルフコントロール力)

育てたい力	ねらい	主な内容	環境・構成	関連する行事	連携に向けた保育者の援助(3つの視点との関連)
1 4	危険が分かり、自分で注意して安全な生活の仕方を身につける。	豪雪の際の避難について大切なことを知り練習する。		豪雪の避難訓練	危険な行為や場所、良いこと悪いことについて具体的な場面をとらえて気付かせ、必要に応じてクラス全体でも考える。その際、表面的な言動にとどまらないよう子どもの気持ちをくみ取りながら具体的な行動の仕方を考えていけるよう言葉かけをしていく。A
1 4	良いこと悪いことを自分で区別し、進んでよいことを行おうとする。	バスの乗り降りの体験をする。	バス運転手さんによる乗り降りの際気を付けることについての話のお願い。	小学校体験入学 交通安全教室	
1	寒さに負けず、進んで戸外で体を動かす遊びを楽しみ、体力・運動能力を高める。	交通安全教室で腹話術を聞いたり、横断歩道の渡り方の練習をしたりする。		交通安全教室 ・腹話術 「いかにおすし」 ・横断歩道の渡り方実施指導	
1	給食当番をし、清潔や身支度に注意しながら、配膳の仕方を身につける。	ボールつき、長縄跳び、しっぽとり等の遊びを経験する。	玩具や用具、場所や時間の確保。	小学校体験入学 (手洗い、爪の検査、マスク・帽子・エプロンの準備)	登園後の片付けを時間内に行うことにより、進んで遊びに取り組めるよう言葉かけをしていく。A 体験入学に向け、給食当番を経験することにより、小学校生活への不安を取り除けるようにする。AC
2 3 4	友達の中で自分の思いを主張したり、認め合ったりしながら活動を発展させ、充実感を味わう。	遊びや活動の中で感想を発表したり相談したり話し合ったりする。	感想を発表したり、相談したり話し合ったりする場を設定。		良い姿は大いに褒め、クラス全体にも伝え広めていく。A 終わりの会や活動の振り返りなどを通して、友だちの良さに気付く・認める・受け入れる様子を認め、他者の個性や存在を大切にすることを促す。A
2 3 4	異年齢児と積極的にに関わり、年長者に対しては憧れと尊敬の気持ち、年少者には思いやりやいたわりの気持ちを持つ。	それぞれが入学予定の小学校で体験入学をし、小学生と交流する。 日野中・日野高の生徒たちと交流する。	体験入学を楽しめるよう、小学校担当者と事前の内容打ち合わせ。また、園児の実態等の情報交換。 お世話になった中・高生に気持ちを伝える方法を考える場を設定。 コマ回しや食育広場など異年齢児との日常的な交流の場づくり。	小学校体験入学 交流会(日野中・日野高)	一人一人の思いが生かされているか、良さを認め合っているかなど把握しながら、必要に応じて助言していく。A 異年齢児との交流を通じた子どもの気づきや発見に共感すると同時に、気づきにくい小さな成長の様子を子どもに伝え、就学に向け、成長を自覚させる。AC
2 3 4	保護者に成長の様子を見てもらい、これまでの感謝の気持ちを伝える。	保護者参加日にお茶会を行い、もてなして感謝の気持ちを伝えることを楽しむ。	仕事の割り振りを相談させたり、お茶会の練習をしたりする場を設定。	保護者参加日お茶会	それぞれが感謝の気持ちを伝えられるよう、一人一人役を割り振ったり、自信を持ってお茶会が出来るよう、練習を重ねさせたりする。AB
3	身近な動植物の世話を通して、成長や変化を感じると共に、生命の尊さを知る。	戸外遊びや遊び時間などに身近な動植物の観察をする。	ザリガニの水槽や、チューリップの植木鉢を見えやすい場所に設置。		保育者の気づきを投げかけ、興味関心を持てるようにする。B
1	毎日の生活の中で、文字、数量、時間などに関心を深めると共に、時間を意識して行動する気持ちを育てる。	時計を見ながら時間を意識して生活する。	ひらがな積木、カレンダー、時計、時計の模型を見えやすいところに設置や掲示。		カルタやすごろく遊びやカレンダー、時計などの身近なものを通して、文字や数量・時間などへの関心を高めていく。B 食事の終了時間を、時計を見ながら数字で伝え、時間を意識した行動が出来るよう働きかける。A
3	自然現象の変化に気づき、冬から春への季節の変化を感じ取る。	凍結、降雪の観察をする。 空き容器を使った氷作りや散歩中の新芽等の発見をする。	自由に使える空き容器やひもなどを用意。		
2 3	言葉や文字を使って遊びを広げ、伝える楽しさを味わう。	お世話になった高校生へお礼の手紙を書いたり、感想や感謝の言葉を伝えたりする。 作品に名前やメモをする。	自由に使える三角鉛筆、鉛筆持ち方掲示、ひらがなカードなどを用意。	日野高との交流会	話が整理できない場面や適切な言葉が見つからない子供には、適切な言葉を補っていく。AB 筋道や考えを整理して、相手に分かるように話すことを促す。AB 話す時の口の開け方や姿勢などにも気づかせていく。AB
2	状況・場面・相手に応じた適切な言葉を使う。				
2	自分の名前や簡単な伝言を書いたり読んだりしようとする。				
3	絵本や物語、素話を見たり聞いたりし、お話の世界に親しみを持ち、想像する楽しさを味わう。	お話会や司書・保育者による読み聞かせを楽しむ。	読み聞かせを受けた本を室内や園内に掲示し、何度も手に取れるコーナーを設置。	お話会	相手に体を向け最後まで黙って聞く姿勢も育てていく。AB
3	歌詞の意味を知り、気持ちをこめて歌う中、今の自分の気持ちを歌で表現する楽しさを味わう。	歌の会や部屋で気持ちを込めて歌う楽しさを味わう。	歌詞の掲示。	歌の会(月)	歌って聞かせ、新しい曲への関心を引き出す。B
3	遊びや生活に必要なものを工夫して作る楽しさを味わう。	参加日に保護者と雛飾りを作って楽しむ。	製作への意欲を喚起できるよう雛飾りを園内に掲示。 製作の喜びを味わえる掲示コーナーを設置。 作品を室内飾りとして使用。	参加日	実物や写真など製作の手掛かりとなるものを示し、見通しを持って作っているようにする。B 製作を通して認め合える関係が深まるような雰囲気を作る。AB

★保小連携3つの視点 (A 学校生活適応の視点 B 学びの連続性の視点 C 互恵性の視点)  
★日野町の子どもたちに育てたい4つの力 (1 基本的な生活習慣 2 コミュニケーション力 3 自尊感情 4 セルフコントロール力)

育てたい力	ねらい	主な内容	環境・構成	関連する行事	連携に向けた保育者の援助(3つの視点との関連)
1 4 1 4 1 1	健康 ・ 危険を招く事態が分かり、安全な生活の仕方を身につける。 ・ 自分でよいことと悪いことを判断し、行動しようとする。 ・ 進んで体を動かし、体力を高める。 ・ 健康な生活に必要な習慣や態度を身につける。	・ 煙が充満しているときの避難方法や体に火がついたときの対処方法を学ぶ。 ・ 戸外での遊びや転がしドッチボール・しっぽとり・長縄などの遊びを楽しむ。 ・ 手洗い・うがいの習慣を身に付ける。	・ 身体を動かすことの楽しさを十分に味わえるだけの時間や場所の確保。 ・ 玩具・用具の確保。 ・ 通信による保護者への働き掛け。	煙による災害の対応をする避難訓練	・ 登園下園時や生活の中で危険な行為や場所、よいこと悪いことについて、一人一人、またクラス全体で考え、安全を意識した行動がとれるよう言葉かけをしていく。A ・ 自主的にその場にふさわしい行動がとれた時には大いに褒め、しっかり認めたうえでクラス全体に伝え広めていく。A ・ 園生活や学校生活に必要な習慣や態度を分かりやすく伝えていく。AB
2 3 3 4 2 3 2 3 2 3 2 3	人間関係 ・ 友だちとの関係を深め、互いに認め合いながら活動を発展させ、充実感を味わう。 ・ 就学への期待と自覚を持ち、見通しを持って生活する。 ・ 入学に期待を持ち、卒園にむけてみんなで取り組む意欲を育てる。 ・ 年下の子どもに優しさやいたわりの気持ちを持って進んで関わる。 ・ 担任以外にいろいろな人がいて生活できていることを知る。 ・ 保護者や園、お世話になった人達への感謝の気持ちを伝える。	・ 遊びや活動の中で感想を发表或したり相談したり話し合ったりする。 ・ 卒園記念プレゼントを作った園児や保護者に渡すことを通じて感謝の気持ちを表す。 ・ 様々な会の終わりにお世話になった方に感謝の歌と言葉によるプレゼントをする。	・ 感想を发表或ししたり、相談したり話し合ったりする場を設定する。 ・ 卒園までの行事や取り組みを記入したカレンダーや表の提示。 ・ 感謝の歌と言葉をプレゼントできる時間と場を設定。	お別れ会 卒園式  食育の会 お話し会	・ 小さな感情表現も見逃さず、喜びや悲しみなど多様な感情に共感することにより、卒園や就学の不安を取り除く。A ・ もうすぐ1年生という喜びや緊張感を受け止めながら、卒園までの課題や予定をクラス全体及び個々に伝え、一人一人が生活の目標を持って自主的に行動できるようにしていく。AB
1 3 4 2 3	環境 ・ 身近にある文字や数字、また時間に関心を持ち、理解を深めていく。 ・ 自分たちが生活してきた保育室の清掃や身近なものを整頓する。 ・ 卒園行事の参加を通し、就学の期待を持つ。	・ 時計を見ながら時間を意識して生活する。 ・ 毎週の掃除とは別に、時間を設けて主にロッカーや道具入れ、床等を丁寧に掃除する。 ・ お別れ会や卒園式等の行事に参加する。	・ 自分たちで設定した目標時間が意識できるよう時計の模写を常設。 ・ 全員にいきわたるよう掃除道具を準備。	大掃除  お別れ会 卒園式	・ 学習用の時計を使って、時間が分かるように示すとともに時間を意識して行動が出来るように働きかける。AB ・ 保育室を掃除させる意味を考えさせ、感謝の気持ちにつなげていく。次に使う友達のものについても話し合い、ていねいに整理していくことを促す。A ・ 年間を通して交流してきた人、保護者、在園時、全職員に、保育所生活で得た自分の得意なこと頑張ってきたことなどを发表或ししたり、感謝の気持ちを伝えたりできるようにする。B
2 3 2 3 2 3 2 3	言葉 ・ 卒園を前にして楽しかったことや就学への期待の気持ちをみんなの前で話し、伝え合う楽しさを味わう。 ・ 話すことになれ、自分の思いを言葉で伝える。 ・ 話し手の言葉を最後まで聞き、相手の思いを受け止める。 ・ 感謝の気持ちを言葉で伝える。	・ 年中児からのお別れ会への招待状を受け、会に参加したり感想を話し合ったりする。 ・ 卒園式で大きくなったらなりたいものを伝える。 ・ 不安や期待、感謝の思いを自分の言葉で伝える。	・ 不安や期待、感謝の思いを伝えられる場の設定。	お別れ会 卒園式	・ 口の開け方や姿勢に気を付けながら、友達や保育者の前で、自分の思いや経験したことなどを話す機会をたくさん設けていく。AB ・ 鏡文字や鉛筆の持ち方に気を付け、一人一人の理解に応じ、ていねいに書かせるようにする。B
2 3 2 3	表現 ・ 感謝をこめて季節の歌や卒園式の歌を綺麗な声で歌ったり卒園の言葉をはっきりと言ったりする楽しさや心地よさを味わう。 ・ 様々な素材や技法を用い、経験したことや想像したことを自由に表現する楽しさを味わう。	・ 卒業式練習や式、お別れ会に参加して、歌ったり言葉を言ったりする。 ・ 工夫しながら卒園記念の絵の作成をしたり、作品袋や記念品を作成したりする。	・ 歌詞の掲示。 ・ 工夫しながら作成できるよう参考になる本や作品を準備。 ・ 画材を様々な準備。	歌の会(月) 卒園式	・ 歌詞を書いたり復唱したりしながら、意味を丁寧に伝え、心を込めて歌えるようにしていく。B ・ 保育所生活を振り返りながら、子ども達から言葉を引き出し、子ども達と一緒に短い文章にしていく。B ・ お互いの表現を認め合ったり、魅力に気づきあったりする雰囲気を作っていく。AB

★保小連携3つの視点 (A 学校生活適応の視点 B 学びの連続性の視点 C 互恵性の視点)  
★日野町の子どもたちに育てたい4つの力 (1 基本的な生活習慣 2 コミュニケーション力 3 自尊感情 4 セルフコントロール力)

## 5 スタートカリキュラム

小学校1年生 生活科		
単元名	どきどきわくわく1年生	
目 標	学校の施設や先生、友達などとかかわることを通して、学校に親しみ、学校生活を送るための習慣や技能を身につけ、登下校のルールなどがあることが分かるとともに、これからの学校生活や教科学習などへの意欲をもち、楽しく安心して遊びや生活ができる。	
活動のねらい	主な学習活動	合科・関連
<b>がっこうのことが しりたいな</b> <b>【学校探検】</b> 1日の学校の生活について知り、小学校にはルールや生活習慣があることに気づき、学校に喜んで通うことができる。	○学校探検をしながら、学校の生活について分かり、先生や友達、教室の名前を覚える。 ・気持ちのよいあいさつや元気な返事をする。 ・自己紹介の仕方を知り、友達に名前を教える。 ・トイレ、ロッカー、靴箱、机の使い方等を知る。 ・学校のチャイムの意味について知る。 ・安全な下校の仕方を知る。 ・体育館や運動場の遊具の使い方を知る。	国語 体育 道徳  [視点] <b>A・B</b> [育てたい力] <b>1・2</b>
<b>みんななかよし</b> <b>【学校探検】</b> 自己紹介をしたり、遊具で遊んだりして、担任や学級の友達と仲良くなるとともに、遊具の使い方やルールを守り、みんなで楽しく遊んだり、生活したりできる。	○自己紹介遊びをしたり、遊具で遊んだりして担任や学級の友達とふれあう。 ・じゃんけん列車など友達と仲良くなれるようにゲームをする。 ・自分の名前を書いた名刺をつくる。 ・名刺に自分の好きなものの絵を描く。 ・学級で名刺の交換をする。 ・名刺が何枚集まったか数えてみる。 ・いろいろな並び方、集合の仕方やみんなで動くときの約束を知る。 ・鬼ごっこなど体を使った遊びを友達と一緒に楽しむ。 ・遊具などの使い方を知り、友達と安全に楽しく遊ぶ。 ・遊んでみて思ったことや楽しかったことを話す。	国語 算数 図工 体育  [視点] <b>A・B</b> [育てたい力] <b>1・2</b>

★保小連携3つの視点 (A 学校生活適応 B 学びの連続性 C 互惠性)  
 ★育てたい4つの力 (1 基本的な生活習慣 2 コミュニケーション力  
 3 自尊感情 4 セルフコントロール力)

1年生スタートカリキュラム（入学式を含む1週間の学習） 根雨小学校

時間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
08:20~09:30 うきうきタイム	入	あいさつ、健康観察、1日の予定、朝の準備（くつばこ、ロッカー、机）、学習に入る前の心の準備（行仗、トイ） ねらい：担任と心を通わせながら心を落ち着かせ、学校で安心感を持って2校時目からの学習活動に向かえるようにする。	うたでなかよしになろう (音1/3)A・歌・手遊び歌 はきはきあいさつ(国2/3)B ・あいさつ・いすの座り方 ・読み聞かせ	うたでなかよしになろう (音1/3)A・歌・手遊び歌 はきはきあいさつ(国2/3)B ・あいさつ・なぞなぞ・読み聞かせ ・身体測定の話 ・体操服の着替え方	うたでなかよしになろう (音1/3)A・歌・手遊び歌 みつけたよ(国2/3)B ・聞き方、話し方 ・手の上げ方、発表の仕方	うたでなかよしになろう (音1/3)A・歌・手遊び歌・校歌 ほんがたくさん(国2/3)B ・ことばあそび ・読み聞かせ
		はきはきあいさつ(国1/3)B ・返事・教科書、筆箱の使い方 学校のこと知りたいな(生2/3)A ・トイレ、水道の使い方 ・ロッカーや机の中の整理等、教室の使い方	身体測定(行事1)	オリエンテーション(算1)B ・算数セットの使い方 ・ゲーム	なかよくなりたいな (国1/3 生2/3)A ・名前を書いてみよう ・自己紹介の練習	
09:35~12:30 2~4校時 (休憩を含み弾力的な扱いをする)	学	みんなで遊ぼう(体1)AB ・体育館の使い方・鬼ごっこ	身体測定(行事1)	せんせいあのお(国1)A ・すきなものをあに ・すきなものを教えてあげる (絵を見せながら発表)	根雨小大好き(生活1)A ・2年生に自己紹介 ・2年生と一緒に学校探検	
		学校のこと知りたいな(生1/2)A ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの使い方 ・登下校のルール確認 楽しく給食を食べよう (学1/2)A 上級生の準備を見学・食べ方・片づけ・歯磨きの仕方・休憩時間の過ごし方の確認	えんぴつのもちかた じをかくしせい(国2/3)B ・運筆練習	文字の世界に明けよう(書2/3)B ・鉛筆の持ち方 ・字をかく姿勢 ・運筆練習	根雨小大好き(生活2/3)A ・2年生と一緒に学校探検	
13:30~14:45 掃除 5校時 帰りの準備 終わりの会		帰りの準備・終わりの会 交通安全教室(行事1) 集団下校	2年生の掃除の仕方の見学 帰りの準備・終わりの会	2年生の掃除の仕方の見学 学校だいすき(生1/2)A ・明日の学校探検の約束確認 帰りの準備・終わりの会	掃除の仕方を考えよう(学1/2)A 教室掃除の仕方 帰りの準備・終わりの会	

1年生スタートカリキュラム（入学後2週間目の学習） 根雨小学校

時間	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
08:20~09:30 うきうき タイム 朝の会	あいさつ、今日の歌、健康観察、1日の予定、朝の準備の仕方、学習に入る前の心の準備 A ねらい：担任と心を通わせながら心を落ち着かせ、学校で安心感を持って2校時目からの学習活動に向かえるようにする。徐々に、朝の会を1年生が進行できるようにしていく。	うたでなかよしになろう (音1/3)A・歌・手遊び歌・校歌 みつけたよ(国2/3)B ・聞き方、話し方 ・手の上げ方、発表の仕方	うたでなかよしになろう (音1/3)A・歌・手遊び歌・校歌 みつけたよ(国2/3)B ・聞き方、話し方 ・手の上げ方、発表の仕方	うたでなかよしになろう (音1/3)A・歌・手遊び歌・校歌 ほんがたくさん(国2/3)B ・ことばあそび ・読み聞かせ	うたでなかよしになろう (音1/3)A・歌・手遊び歌・校歌 みつけたよ(国2/3)B ・聞き方、話し方 ・手の上げ方、発表の仕方
	オリエンテーション(算1)B ・なまづくり ・かず、ゲーム ・算数セットの使い方	かずとすうじ(算1)B ・なまづくりと数 ・ゲーム	かずとすうじ(算1)B	かずとすうじ(算1)B	かずとすうじ(算1)B
09:35~12:30 2~4校時 (休憩を含み弾力的な扱いをする)	遊具で遊ぼう(体1)A ・体操服を着て校庭に行こう ・鬼ごっこ ・遊具の使い方	学校だいすき(生1)A	かたちやいろをたのしもう (図1)B	遊具で遊ぼう(体1)AB ・整列、行進等集団行動 ・鬼ごっこ ・遊具の使い方	たのしいがっこう(道徳1)A
	学校だいすき(生1/2)A 楽しく給食を食べよう (学1/2)A ・自分達で給食の準備をする。	じをかこう(国2/3)B ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習 楽しい給食(1/3)A ・給食の準備・片づけ	じをかこう(国2/3)B ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習 楽しい給食(1/3)A ・給食の準備・片づけ	じをかこう(国2/3)B ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習 楽しい給食(1/3)A ・給食の準備・片づけ	じをかこう(国1)B ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習 (介当)
13:40~14:45 掃除・5校時 帰りの準備 終わりの会	教室の掃除 粘土で遊ぼう(図1)B 帰りの準備・終わりの会	教室の掃除 学校の人となかよくなる (生1)A 帰りの準備・終わりの会	教室の掃除 掃除の仕方考えよう(学1/2)A 廊下・玄関の掃除の仕方 学校だいすき(生1/2)A 帰りの準備・終わりの会	廊下・玄関の掃除 みつけたよ(国1)B 帰りの準備・終わりの会	帰りの準備・終わりの会 参観授業(1) 未定

※うきうきタイムは、保育所と連携して内容を選択し、楽しく安心感をもって過ごせるようにする。  
 ※2~4校時は、各科の授業をする。2週目からは徐々に教科学習へ移行していく。  
 ※2週目の1課目5校時は、参観日の公開授業  
 ※2週間時の数38時間(国語10 算数6 生活5 音楽3 園工3 体育3 道徳1 学活4 行事3)

本学では、児童の学習活動の記録として、授業の様子や児童の学習成果を写真や動画で撮影し、保護者へ提供しています。保護者は、児童の学習活動の様子や学習成果を確認し、児童の学習活動を応援することができます。



1年生スタートカリキュラム（入学式を含む1週間の学習） 黒坂小学校

時間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
08:20~09:30 うきうきタイム		あいさつ、健康観察、1日の予定、朝の準備（くつばこ、ロッカ、机）、学習に入る前の心の準備（手洗、トイレ）A・1 ねらい：担任と心を通わせながら心を落ち着かせ、学級で安心感を持って2校時目からの学習活動に向かえるようにする。			
		うたでなかよしになろう 〈音1/3〉A・2 ・歌・手遊び はきはきあいさつ 〈国2/3〉B・1 ・あいさつ・いすの座り方 ・ことばあそび ・読み聞かせ	うたでなかよしになろう 〈音1/3〉A・2 ・歌・手遊び はきはきあいさつ 〈国2/3〉B・1 ・あいさつ・なぞなぞ ・読み聞かせ ・身体測定の話	うたでなかよしになろう 〈音1/3〉A・2 ・歌・手遊び・自己紹介 ・なかよし集会の歌 オリエンテーション 〈算2/3〉B・1 ・さんすうせつとの使い方・ゲーム	〇〇せんせいとなかよしになろう〈体1/3〉A・2 ・じゃんけんゲーム ・リズムダンス ほんがたくさん 〈国2/3〉B・2 ・ことばあそび ・読み聞かせ
09:35~12:30 2~4校時 (休憩を含み弾力的な扱いをする)	入 学 式	はきはきあいさつ 〈国2/3〉B・1 ・教科書、ふでばこの使い方、返事 学校探検①〈生活1/3〉A・1 ・トイレ、水道の使い方 わくわくホール ・整列の仕方 ・廊下の歩き方	みつけたよ〈国2/3〉B・1・2 ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方 学校探検②〈生活1/3〉A・1 ・保健室、職員室 ・教室棟1階教室 ・整列の仕方 廊下の歩き方	みつけたよ〈国2/3〉B・1・2 ・聞き方、話し方 ・発表の仕方 学校探検③〈生活1/3〉A・1 ・図書室、管理棟2階 ・整列に仕方 廊下の歩	オリエンテーション 〈算2/3〉B ・なかまづくり ・かず、ゲーム 学校探検④ 〈生活1/3〉A・1 ・管理棟3階 ・整列に仕方 廊下の歩き方
		がつこうのことがしりたいな〈生活1〉A・1・4 ・登下校のルール ・体育館、運動場で遊んでみよう・道具の使い方	身体測定〈行事1〉	なかよし集会 2 〈児童会1〉	なかまづくり〈算1〉 ・なかまづくりとかず ・ゲーム ・さんすうせつとの使い方
		たのしいきゅうしょく 〈学活1〉A・1 ・給食の準備・片付け	えんぴつのもちかた じをかくしせい 〈書1/3〉B たのしいきゅうしょく 〈学活2/3〉A・1 ・給食の準備・片付け	せんせいあのおね〈国2/3〉 ・すきなものなあに たのしいきゅうしょく 〈学活1/3〉A・1 ・給食の準備・片付	なかよくなりたいな 〈生活2/3 国1/3〉1・2・3 ・自己紹介の絵 ・なまえをかいてみよう 給食の準備 A・1
13:40~14:45 そうじ 帰りの準備 おわりの会		上級生の掃除の仕方を見よう ・廊下の床ふきをしよう 帰りの準備・おわりの会 3 (集団下校 15:15)	そうじのしかた A・4 〈学活1/3〉 ・床ふき、机ふき 帰りの準備・おわりの会 3	そうじのしかた A・4 〈学活1/3〉 ・教室の掃除 帰りの準備・おわりの会 3	そうじのしかた A・4 〈学活1/3〉 ・教室の掃除 帰りの準備・おわりの会 3

※うきうきタイムは、保育所と連携して内容を選択し、楽しく安心感をもって過ごせるようにする。

※2~4校時は、合科的な扱いをする。2週目からは徐々に教科学習へ移行していく。

※網掛けは、関連のあるもの

学校行事等の詳細は、学校説明会（4月14日、15日）にて行われます。また、各学年の生活科、国語、算数等の学習内容は、各学年の学習指導要領に基づいて行われます。

1年生スタートカリキュラム（入学後2週間目の学習） 黒坂小学校

時間	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
	あいさつ、今月の歌、健康観察、1日の予定、朝の準備の仕方、学習に入る前の心の準備 A・1 ねらい：担任と心を通わせながら心を落ち着かせ、学校で安心感を持って2校時目からの学習活動に向かえるようにする。徐々に、朝の会を1年生が進行するようにしていく。				
08:20～09:30 うきうきタイム 朝の会	うたでなかよしになろう 〈音1/3〉A・2 ・手遊び・校歌 オリエンテーション 〈算2/3〉B ・なかまづくり ・かず、ゲーム ・さんすうセット準備・片付け	〇〇せんせいとなかよしになろう 〈体1/3〉A・2 ・じゃんけんゲーム ・リズムダンス みつけたよ〈国2/3〉B・1・2 ・聞き方、話し方 ・発表の仕方 ・名刺づくり	うたでなかよしになろう 〈音1/3〉A・2 ・手遊び ・校歌 ほんがたくさん 〈国2/3〉B・2 ・ことばあそび ・読み聞かせ	〇〇せんせいとなかよしになろう〈体1/3〉A・2 ・じゃんけんゲーム ・リズムダンス ・ボール送りゲーム ほんがたくさん B・2 〈国2/3〉 ・ことばあそび ・読み聞かせ	うたでなかよしになろう 〈音1/3〉A・2 ・手遊び ・校歌 ほんがたくさん B・2 〈国2/3〉 ・ことばあそび ・読み聞かせ
09:35～12:30 2～4校時 (休憩を含み 弾力的な扱い をする)	もじのせかいにでかけよう 〈書1〉B ・鉛筆の持ち方 ・正しい姿勢	かずとすうじ〈算1〉	みつけたよ〈国1〉B・2 ・聞き方、話し方 ・発表の仕方	かずとすうじ〈算1〉	じをかこう〈国1〉B ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習
	ゆうぐであそぼう〈体1〉 ・体操服を着て校庭に行こう A・1・4	うたでなかよしになろう 〈音1〉A・2 ・校歌	ゆうぐであそぼう 〈体1〉AB・1・4 ・遊具の使い方・整列・行進	かたちやいろをたのしもう 〈図1〉	かずとすうじ〈算1〉
	みつけたよ〈国1〉 ・聞き方、話し方 ・発表の仕方 AB・2 ・名刺づくり	がっこうだいすき A・1 〈生活1〉	かずとすうじ〈算1〉	じをかこう〈国1〉B ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習	がっこうだいすき A・1 〈生活1〉
13:40～14:45 そうじ 掃りの準備 おわりの会 5校時	掃除 4 ・教室の掃除 掃りの準備 おわりの会 3	掃除 4 ・教室の掃除 掃りの準備・おわりの会 3 (集団下校 15:15)	掃除 4 ・教室の掃除 掃りの準備・おわりの会 3	掃除 4 ・教室の掃除 掃りの準備・おわりの会 3	掃除 4 ・教室の掃除 掃りの準備・終わりの会 3 がっこうだいすき 〈道1〉 1・2・3

※うきうきタイムは、保育所と連携して内容を選択し、楽しく安心感をもって過ごせるようにする。

※2～4校時は、合科的な扱いをする。2週目からは徐々に教科学習へ移行していく。

※2週目の土曜日5校時は、参観日の公開授業

※2週間の時数 38時間

(国語11、書写11/3、算数7、生活5、音楽3、図工12/3、体育3、道徳1、学活3、行事2、児童会1)

本校は、おうちの延長として生活習慣、学習の習慣を身に付け、  
自己管理能力、コミュニケーション能力、生活習慣、4領域の基礎を培う。

## 6 関連行事の計画と内容

### (1) 年長児と小学校1年生の交流活動

実施時期	ねらい	活動内容	場所・担当
1学期	年長児：小学校の雰囲気慣れ親しむ 1年生：小学生としての自覚を深める 指導者：保小連携の確認 指導へのフィードバック	・学校案内 ・ゲーム	場所：小学校 担当：◎1年担任 年長担任
2学期	年長児：先輩への憧れを抱く 1年生：学習成果を年長児に伝える 指導者：保小連携の確認 指導へのフィードバック	・学習成果の発表 ・ゲーム	場所：保育所 担当：◎1年担任 年長担任

### (2) 年長児と小学校5年生の交流活動

実施時期	ねらい	活動内容	場所・担当
1学期	年長児：小学校の雰囲気慣れ親しむ 5年生：入学してくる年長児と親しくなる 指導者：保小連携の確認 指導へのフィードバック	・学校案内 ・ゲーム	場所：小学校 担当：◎5年担任 年長担任
2学期	年長児：先輩への憧れを抱く 5年生：年長児に対する思いやりの心を持つ 指導者：保小連携の確認 指導へのフィードバック	・学習成果の発表 ・ゲーム	場所：保育所 担当：◎5年担任 年長担任

### (3) 小学校体験入学

実施時期	ねらい	活動内容	場所・担当
2月	年長児：小学校入学への意欲を高める 小年生：進級に向けての自覚を深める 指導者：保小連携の確認 指導へのフィードバック	・交流会 ・ゲーム ・給食	場所：小学校 担当：教頭 1年担任

### (4) 保小連絡会

実施時期	ねらい	参加者	場所・担当
1学期	・入学児童についての状況を確認する ・年間を通した保小連携・交流計画を立てる ・1学期の交流活動の内容を協議する	保育所：所長、担任 学校：教頭、担任、 特別支援教育主任	場所：小学校 担当：指導主事
夏休み	【小学校教職員の保育所訪問研修】 小学校：入学してくる児童の様子を確認する 保育所：保小連携の認識を深める	【研修内容】 児童観察、保育参加、 意見交換等	【部会事業】 場所：保育所 担当：領域部会
3学期	・小学校に入学する児童の引継ぎを行う ・保小連携・交流事業の反省をする	保育所：所長、担任 学校：教頭、担任、 特別支援教育主任	場所：保育所 担当：指導主事

# 7 つなぎたい学びのルール

## ① 姿勢

### ■足はペタン 背中はピン!

足は床にぴったりつけ、背筋を伸ばして椅子の背もたれにおしりからつけます。背もたれとの間があくと、背筋を痛める原因となります。

### ■目を近づけないで書く!

目を近づけると、目を悪くするもとになりますし、背骨も曲がってしまいます。30cmくらいは離すようにします。



## ② 聞く

### ■話す人の方を向いて聞く!

発表する人に体を向けて、話し終わるまで黙って聞きます。

### ■学習中、必要のない時には物を持たない!

学習中に鉛筆や消しゴムを持つと、どうしても集中できません。手を置き、前をしっかりと見て話を聞きます。



## ③ 話す

### ■意見があれば、右手をまっすぐ挙げる!

背筋を伸ばし、腕を耳につけてまっすぐ挙げます。

### ■指名されたら「はいっ」と返事をする!

教師や友だちに指名されたら、「はいっ」と返事をして立ちます。

### ■自分から一番遠い人に向かって発表する。

立ったら椅子は机の中に入れて、一番遠い人に向かって話します。必要なら「前に出て説明します」と言って前に出ます。

### ■その場に応じた音量で話す!

**こえの おおきさ**

さあ、いくつの こえで はなしたら いいのかな?

0 シーク、しずかに。 ●せんせいやともだちのおはなしを、せくとき

1 ちいさなこえで ●おとなりのひととはなしをするとき

2 ふつうのこえで ●4〜5にのぐる一組で はなしをするとき

3 おおきなこえで ●みんなのまえで はっぴようするとき

4 げんき いっぱいのこえで ●こういで とおくに いるともだちに きこえる くらい

## えんぴつの もちかた



えんぴつは、**目か2目か**よい。

えんぴつの **かたむけかた**にも、**きをつける。**

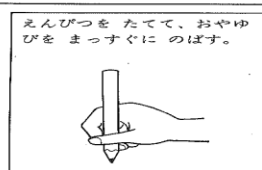
ひどさしゆびと **おやゆび**をかさねないで、**たかさ**をそろえてもつ。

おやゆびは、**かるくまげる。**

けずってあるところの**すこしうえ**をもつ。

なかゆびとくすりゆびは、**かるくまるめる。**

こゆびは、**かるくまるめて、かみにつける。**



## 参 考 資 料

### 《会議等の開催状況・平成23年度》

月	会議等の開催	協議内容等
10	第1回作業チーム会議（10月31日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業チームの設置について</li> <li>・今後の作業日程等について</li> <li>・保小接続カリキュラムのイメージについて</li> </ul>
12	第2回作業チーム会議（12月9日） 《佐賀市教育委員会の視察》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5項目についての調査研究               <ul style="list-style-type: none"> <li>①アプローチカリキュラム「えがお」について</li> <li>②スタートカリキュラム「わくわく」について</li> <li>③幼保小連携について</li> <li>④子育て支援について</li> <li>⑤特別支援教育について</li> </ul> </li> </ul>
1	第3回作業チーム会議（1月16日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの基礎を育むプログラムについて</li> <li>・アプローチカリキュラムについて</li> <li>・スタートカリキュラムについて</li> </ul>
2	第4回作業チーム会議（2月17日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小接続カリキュラムのゴールイメージについて</li> <li>・接続カリキュラムについて</li> <li>・関連した内容について</li> </ul>
3	第5回作業チーム会議（3月2日） 第6回作業チーム会議（3月26日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野町「育ちと学びをなめらかにつなぐ」保小連携推進計画の内容について</li> <li>・日野町における保小連携の推進について（提案）</li> </ul>

#### 【カリキュラム作業チームのメンバー】

委員	水嶋 志都子（西部教育局）	田貝 陽子（ひのっこ保育所）
	木下 初美（黒坂小学校）	西村 幸重（根雨小学校）
	森川 寿子（根雨小学校・平成23年度ひのっこ保育所で長期社会体験研修）	
事務局	瀧田 美紀子（課長補佐）	其山 守美（指導主事）

### 《会議等の開催状況・平成24年度》

#### 【スタートカリキュラム見直し検討会】

日 時 平成25年2月4日（月） 15:30～17:00

場 所 黒坂小学校 校長室

出席者 田貝 陽子（ひのっこ保育所うめ組担任） 木下 初美（黒坂小学校教務主任）  
西村 幸重（根雨小学校教務主任） 森川 寿子（根雨小学校1年担任）  
其山 守美（教育委員会指導主事）